

事業計画書

事業名	自殺防止・減少浸透（ゲートキーパー）サポート事業
実施場所	沼津市内
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2019年 4月 1日 ~ 2020年 3月 31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

沼津市内の中小企業に勤務する働き盛りの中高年層（自殺率が高い）をターゲットに、政と民間企業をつなぎ、自殺防止や減少のための隙間を埋める活動と仕組みの構築を目指します。今年度は周知・啓発のための「ゲートキーパー養成研修」を当面、市内の企業の労務担当者や衛生管理者などの産業保健スタッフを対象に、担当行政課や商工会議所等と連携をとり進めていきます。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

年間の自殺者数は減少してきたとはいえ、未だ2万人を超える状況が続いています。自殺防止は社会全体で取り組むべき課題です。中でも身近な人を守る「ゲートキーパー」の存在は重要だと考えます。しかしながら、その認知も効果もまだ低い（ゲートキーパーの認知率約8%）ままです。そのため、本事業では、自殺者数の減少のため「ゲートキーパー」の養成並びに啓発活動、職場における防止対策の仕組みづくりを目指すこととします。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
4月～9月	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>協働・連携のための打合せ及び研究・準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連機関等との打合せ（情報交換、当事業の理解、協力・協働） ・必要に応じ社労士等との連携 ・事業推進のための打合せ（日程、対象、告知、会場等） ・メンタルヘルス研修と一緒に行う事の効果・効率アップ ・例1：各企業の労務担当者や労働組合の担当者などを中心→会社等現場へ戻り研修を行う→一定期間において当団体がその後の状況等をサポート ・例2：商工会等を通じ直接企業へ出向き養成研修を行う <p>内部講師のスキルアップ対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルーテル学院大学等への研修参加 ・その他、自殺防止活動の実績や効果を出している地域・団体への研修 <p>自殺防止月間に合わせ「ゲートキーパー」研修を実施する。</p>
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・県・東部・市とのスケジュール等の状況調整必要
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲートキーパー等の実施部門へのサポート

<p>10月以降 基本イベント 9月・2月</p>	<p>9月10日（WHO自殺防止デー）、9月自殺防止月間 2月～3月 自殺対策強化月間 この2つのタイミングに合わせ「ゲートキーパー養成研修」を実施 実施に際し、企業個々で行うか、企業の労務担当者及び衛生管理者等、産業保健スタッフやメンタルヘルスで行うラインケアの担当者を対象とする。 この部分については、企業や企業担当者との意見や意識の共有が図られないと難しいため、行政担当部門と商工会等の協力が不可欠となる。よって、今年度の事業が開始と同時に連携協議が必要。（4月～7月目処） 実施日、会場、参加人数、資料、研究・検討については、この協議の中で行う予定。 また、今後講師側のスキルやキャパの向上も必要となるため、当団体内でのスキルアップ研修や研究検討会も行う予定である。但し、イベントが集中する見込みがあるため、関連部署との協議に合わせ、内部研修の日程を検討していく。 （毎年、ある程度の計画性が見込まれるため、将来の活動計画の日程研究としても情報を集約していく）</p>
-----------------------------------	--

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。</p>			
<p>自殺予防のための取り組み方（重要性・手法）の啓発 → 自殺者数の減少 沼津市健康福祉課・産業振興課などの関連部署と民間企業をつなぎ → 市全体での取り組みの浸透 → 市民協働の推進。 中小企業へのサポート → どうしても手薄になりがちな安全衛生管理の環境改善 以上のことを通じて、自殺者数の減少、暮らしやすい地域づくりにも貢献できる。</p>			
<p>成果指標</p>	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 ①ゲートキーパーの認知度、約8%→10% 市内の企業数の10%+αの担当者の参加を目指す。</p>	<p>指標の検証方法</p>	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。 ①担当者（企業数）又は企業単体の場合は参加者（市の企業人口参照） ②ゲートキーパーの理解度 研修のアンケート → 理解できた70%以上を目標</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。 家庭、地域、企業においても大切な働き盛りの層の自殺者を減らすことは、関係者の直接的な損失を食い止めるだけではなく、この活動の経験が沼津市の健康と福祉の基本計画などにフィードバックされることで、市全体の取り組みの精度も向上すると考えます。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。 沼津市内の企業に限定することで、固定した人数が分母としてとらえられる（市の情報必要）イベントの対象としては、地域単位、業種単位、職種単位、年齢別（新人、若年者、中間、管理職、セカンドライフ対象者等）等幾つかあるが、今回は業種又は職種（産業保健スタッフ又は労務管理者等）を対象</p>

	とする。その参加状況を研究材料の1つとし、次のステップに生かすこととします。(PDCAを回す)
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>私たちの団体構成メンバーの多くは「産業カウンセラー」の資格保持者で、働く現場の当事者でもあります。また代表の丹澤自身は、民間企業の会社員（総務・労務）、カウンセラーとしてハローワーク、教育現場のスクールソーシャルワーカーとしての経験を持っています。これらの経験を生かし、行政と民間企業の隙間を埋める仕組みを構築することを目指していること、働き盛りの世代へのアプローチを行政と市民の協働により行おうとしていることは、先導的であると考えます。</p>
発展性 ・ 継続性	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>自殺防止の取り組みは社会全体で取り組むべき課題です。しかしながら、これまでは行政（市民、地域を対象）企業（従業員対象）とそれぞれに対策を取ってきた感が強いと感じます。</p> <p>行政・企業・地域をつなぐ仕組みや活動主体が生まれることで、より継続的な取り組みができると思います。特に中小企業など経済的に単独で対策をとることの難しかった事業体においても協働で取り組む仕組みができればその負担も軽減され、取り組みやすくなると思います。（発展性もアップ）</p>
実現性 ・ 妥当性	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>自殺防止の取り組みには心理に関する知識やコミュニケーションの専門的なスキルが必要な場面が少なくありません。</p> <p>その点、私たちはカウンセラーの有資格者の集まりであるため対応が可能です。また、ゲートキーパー養成のためのセミナーの実施、無料カウンセリング等の活動も行なっています。さらに、団体メンバーの中には行政機関との連携に長く関わってきた経験者も複数いることから、今回の事業は実現可能であると考えます。</p>
活動に対する熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>私たちは誰もがこの社会においてその人らしく生活できるようでありたいと思い活動しています。しかしながら、自分一人の力ではどうにもならない事態に出会いままならない状況に陥ることもあると思っています。それは社会にできた隙間が生み出す状況であるとも考えます。私たちの活動が、行政、企業、地域をつなぐことで、社会の隙間を埋める小さな力になればと願います。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

自殺者防止・減少対策を行うには、「交通安全」と同様の継続・啓発活動が最低限の骨子として必要です。そのための取り掛かりとして環境整備を含めた、啓発事業・ネットワークづくり・コーディネート活動を進めていきます。特に行政と民間の連携を市民協働の形で進めたいと思います。企業へのサポートをより具体的な活動として進めていきます。（「自殺を予防しましょう」と掛け声をかけられても、何をどのようにしたらいいのかわからない、具体的に知る機会がないままでは、戸惑うばかり。→ワークショップ等で体験→ワークショップ開発・サポート）

当団体も専門家とはいえ、十分ではありません。知識・スキル・経験をさらに向上させ、フィードバックし、現場に反映させる必要があります。今年度の経験を次年度の活動に活かし、自殺防止のための仕組みづくりを進めます。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。